B-MANU202014-01

I-O DATA

RS-232Cポート拡張ボード

RSA-PCI3/RSA-PCIL/RSA-EXP

取　扱　説　明　書

Step1　インストールする

ヒント
- **本製品はまだ接続しないでください。**
- **Windowsはコンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンしてください。**

1　添付のサポートソフトCD-ROMをセット

※自動再生画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって［AUTORUN.EXEの実行］をクリックします。

2

［デバイスドライバ］をクリック

※メニューが表示されない場合は、コンピュータ等からCD-ROM内の［Autorun（.exe）］をダブルクリックします。

※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって、［はい］または［許可］をクリックします。

3　画面の指示にしたがってインストール（画面例：RSA-PCI3シリーズ）

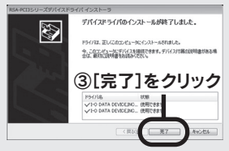
Windows 8 / 7 / Vista、Windows Server 2012 / 2008 R2 / 2008の場合

①［次へ］をクリック

②［このドライバーソフトウェアをインストールします］をクリック

※2回表示されます。

※Windows 8、Windows Server 2012では表示されません。



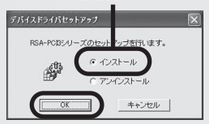
③［完了］をクリック

④サポートソフトCD-ROMを取り出し、Windowsをシャットダウンする

※Windows Vistaの場合、通常の終了ではなく、シャットダウンをおこなってください。

Windows XP / 2000、Windows Server 2003 R2 / 2003 の場合

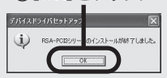
①［インストール］にチェックがあることを確認



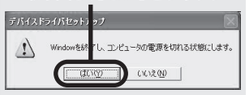
②［OK］をクリック

③［OK］をクリック

④［OK］をクリック



⑤サポートソフトCD-ROMを取り出し、［はい］をクリック



※パソコンの電源が自動的に切れます。

以上で、インストールは完了です。次に「Step2 接続する」へお進みください。

Step2　接続する

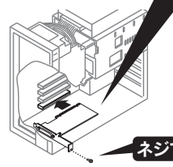
1　パソコンおよび周辺機器の電源を切り、各電源ケーブルをコンセントから抜く

2　パソコンのカバーを取り外す

※取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3　空いているPCIバスのスロットカバーを取り外し、本製品を装着

RSA-PCILシリーズ、RSA-PCI3シリーズ ⇒ PCIバスへ装着
RSA-EXPシリーズ ⇒ PCI-Expressバスへ装着

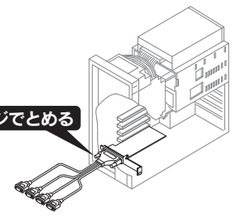


※スロットの位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

※RSA-PCILシリーズ、RSA-EXPシリーズで金具が合わない場合は、本紙裏面「金具の交換方法」を参照し、取り替えてください。

4　①添付の専用ケーブルを本製品に挿しこむ
②ネジで止め、固定する

（例：4ポートタイプの場合）



※一部のパソコンでスロット開口部が狭いために、ケーブルのコネクターがスロット開口部にひっかかり、奥までしっかり差し込めない場合があります。
スロット開口部の板金厚が1.5mm以下であれば、コネクター内部の接触ピンの長さが充分接触するため、固定ネジを締めることで支障なくご使用になれます。

5　パソコンのカバーを取り付け、パソコンおよび周辺機器の電源ケーブル等を元に戻す

6　パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する
⇒自動的にドライバがインストールされます。

※コンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンします。

※本製品を複数枚使用する場合は、1枚目のインストールおよび接続がすべて終わってから、2枚目のインストールおよび接続をおこなってください。

Windows 8 / 7 / Vista / 2000、Windows Server 2012 / 2008 R2 / 2008の場合

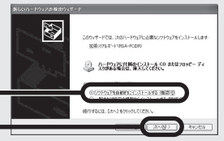
以上で、接続は完了です。次に「Step3 ポートの確認と変更」へお進みください。

Windows XP、Windows Server 2003 R2 / 2003 の場合

画面の指示にしたがってインストールします。

①［いいえ、今回は接続しません］を選択

②［次へ］をクリック



③［ソフトウェアを自動的にインストールする］が選択されていることを確認

④［次へ］をクリック

※右の画面が表示された場合は「戻る」をクリックし、サポートソフトCD-ROMを取り外してから「次へ」をクリックしてください。

⑤［続行］をクリック

⑥［完了］をクリック

以降、製品のポート数分、本手順を繰り返します。

※2ポートタイプはあと2回、4ポートタイプはあと4回、8ポートタイプはあと8回繰り返します。

以上で、接続は完了です。次に「Step3 ポートの確認と変更」へお進みください。

Step3　ポートの確認と変更

本製品のCOM番号の確認方法と変更手順を説明します。OSによりCOM番号の割り当てられ方および確認方法が異なります。

ヒント

本製品のCOM番号の割り当てられ方

●Windows 8 / 7、Windows Server 2012 / 2008 R2の場合

ご利用の環境で未使用のCOM番号（COM3以降）が自動的に**ランダム**に割りあたります。

●Windows Vista / XP / 2000、Windows Server 2008 / 2003 R2 / 2003の場合

・ご利用の環境で未使用のCOM番号（COM3以降）が自動的に小さい番号順に割りあたります。
・本製品に割り当てられたCOM番号の小さい番号順に、添付の専用接続ケーブルのコネクター［P1］から順に割り当てられます。

ヒント

使用中のCOM番号と入れ替える場合

使用中のCOM番号に変更したい場合は、それぞれを一旦、未使用のCOM番号に変更した後、設定したいCOM番号に変更しなおします。

例：ポート2とポート3のCOM番号を変更する場合

①変更前	
ポート1	COM3
ポート2	COM5
ポート3	COM4
ポート4	COM6

→

②一旦未使用の番号に変更	
ポート1	COM3
ポート2	**COM7**
ポート3	**COM8**
ポート4	COM6

→

③設定したい番号に変更	
ポート1	COM3
ポート2	**COM4**
ポート3	**COM5**
ポート4	COM6

※この例の場合、COM番号の変更の作業を4回おこなうことになります。

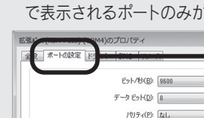
Windows 8 / 7、Windows Server 2012 / 2008 R2 の場合

※コンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンします。

1　添付のサポートソフトCD-ROMをセット

※自動再生画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって［AUTORUN.EXEの実行］をクリックします。

2



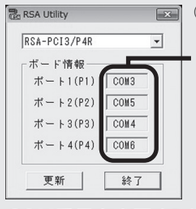
（画面例：RSA-PCI3シリーズ）

［ユーティリティー］をクリック

※メニューが表示されない場合は、コンピュータ等からCD-ROM内の［Autorun（.exe）］をダブルクリックします。

※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［はい］または［許可］をクリックします。

3　各ポートに割り当てられているCOM番号を確認



（画面例：RSA-PCI3/P4R（4ポートタイプ）の場合）

ランダムに割り当てられる

※COM番号を変更しない場合は［終了］をクリックし、終わります。本製品にモデムやTAを接続し、ご使用いただけます。モデムやTAのプロパティで本製品のCOM番号を設定し、ご利用ください。

4　COM番号を変更する場合は、［コンピューター］を右クリックし、［プロパティ］→［デバイスマネージャー］の順にクリック

※Windows 8、Windows Server 2012の場合は、チャームバーより［検索］をクリックし、［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［デバイスマネージャー］の順にクリックします。

5

①［ポート（COMとLPT）］をダブルクリック

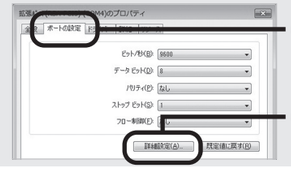
②変更したいCOM番号をダブルクリック
⇒プロパティが開きます。

※ご利用環境によりCOM番号は異なります。

※Windows 8、Windows Server 2012の場合、"Exar's Communications Port(COMx)"と表示されます。

※RSA-EXP/P2RをWindows 8/Windows Server 2012でご利用の場合、デバイスマネージャーではCOMが4ポート表示されますが、ユーティリティーで表示されるポートのみが使用可能となります。

6



①［ポートの設定］タブをクリック

②［詳細設定］をクリック

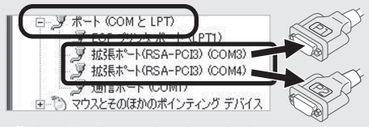
Windows Vista / XP / 2000、Windows Server 2008 / 2003 R2 / 2003 の場合

※コンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンします。

1　［コンピュータ］（またはマイコンピュータ）を右クリックし、［プロパティ］→（［ハードウェア］→）［デバイスマネージャ］の順にクリック

（画面例：RSA-PCI3シリーズ）

2　①［ポート（COMとLPT）］をダブルクリック



②各ポートに割り当てられているCOM番号を確認

以上でポートの確認は終了です。本製品にモデムやTAを接続し、ご使用いただけます。モデムやTAのプロパティで本製品のCOM番号を設定し、ご利用ください。

※COM番号を変更する場合は、左記「Windows 8 / 7 / Windows Server 2012 / 2008 R2の場合」の手順5～手順9と同様の手順で変更してください。

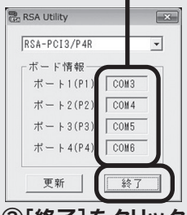
7　①［COMポート番号］から未使用の番号を選択

②［OK］をクリック

8　［OK］をクリック

9　①ユーティリティー画面の［更新］ボタンをクリック

②COM番号を確認



③［終了］をクリック

以上でポートの確認と変更は終了です。本製品にモデムやTAを接続し、ご使用いただけます。モデムやTAのプロパティで本製品のCOM番号を設定し、ご利用ください。

ご使用上の注意

- ●高速なRS-232C通信（230.4Kbps以上）をおこなう場合は、次の事項にご注意ください。
  ・RS-232C接続ケーブルは長さ2m以内でシールドされたものをご使用ください。
  ・4ポート以上を同時に高速通信する際に必要なCPUの目安はPentium III 500MHz以上となります。
- ●データのオーバーフローを防ぐために、フロー制御を設定してお使いください。ハードフロー制御を有効にするためには、必ずRTS/CTS、DTR/DSRの信号線が結線されているRS-232C接続ケーブルをお使いください。
- ●通信機器により、設定可能な通信速度は異なり、必ず230.4Kbps以上に設定できるものではありません。
- ●本製品に接続されているPnP機器（モデムなど）は自動検出されない場合があります。その場合は手動でインストールしてください。
- ●スループットはシステムの環境により異なります。
- ●高速なデータ転送の最中に他のアプリケーションが実行されるとスループットが低くなる場合があります。
- ●接続するRS-232C機器が以下の条件のときは使用できない場合があります。
  ・16ビットアプリケーション制御されている場合
  ・I/Oポートを直接制御している場合
- ●スタンバイ、サスペンド、休止状態には対応しておりません。
- ●シリアルポートから電源供給を必要とするRS-232Cで接続する周辺機器への接続はできません。
- ●本製品を使用中に、データなどが消失・破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

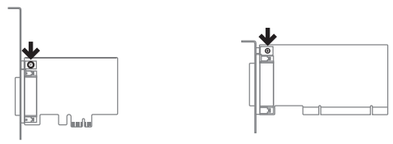
金具の交換方法（RSA-PCI3シリーズ除く）

ご使用のパソコンのPCIスロットに金具が合わない場合は、以下の手順で金具を交換してください。

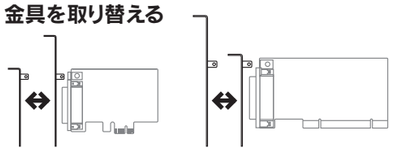
1 金具側のネジを外す

ネジを外す際に、ハンダ面などでケガをしないようご注意ください。

2 基板側のネジを外す



3 金具を取り替える



4 ネジを止める

※必ず基板側のネジをとめてから金具側のネジをとめます。

「画面で見るマニュアル」の開き方

「画面で見るマニュアル」では、専用接続ケーブルのコネクター形状や、FAQ、アンインストール手順等を説明しています。サポートソフトCD-ROMのメニューから開くか、弊社ホームページよりご覧ください。

➡ **http://www.iodata.jp/lib/**

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⃠	禁止
❗	指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

⚠ 警告

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
火災・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かない。

本製品の小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息する恐れがあります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行う
電源コードを抜かずに行うと、感電および故障の原因になります。

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける
ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみで、ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外事由

以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等（但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。））が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
5) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
6) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
8) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
9) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
10) 弊社が寿命に達したと判断した場合
11) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
12) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1)修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2)発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3)本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4)弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

ハードウェア保証書

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

修理の際は、保証書を切り取り製品に同梱するか、本書を製品と一緒に送付してください。

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

✂（キリトリ線）

ハードウェア保証書

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

型番	RSA-PCI3シリーズ、RSA-PCIeシリーズ、RSA-EXPシリーズ
保証期間	ご購入日より 12ヶ月間 有効です。

ご購入日	年　月　日	
販売店	住所・店名 TEL．（　　）　－	㊞
☆お客様	（ふりがな） お名前　様 TEL．（　　）　－ 〒□□□-□□□□ ご住所	

I-O DATA 株式会社 アイ・オー・データ機器

保証内容等につきましては、「ハードウェア保証規定」をご参照ください。

107327-05

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- 『画面で見るマニュアル』の「困ったときには」を参照
- 弊社サポートページのQ&Aを参照
  ➡ **http://www.iodata.jp/support/**
- 最新のソフトウェアをダウンロード
  ➡ **http://www.iodata.jp/lib/**

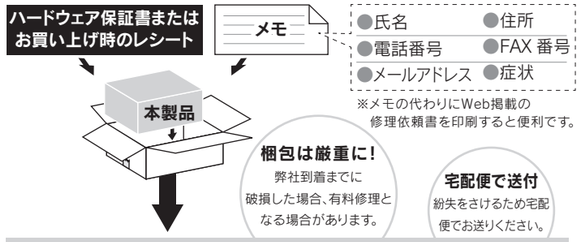
それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3017
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
FAX：076-260-3360
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

＜ご用意いただく情報＞
製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- ●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは…**http://www.iodata.jp/support/after/**

【ユーザー登録はこちら】…**https://ioportal.iodata.jp/**
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号（S/N）は本製品に印字されている12桁の英数字です。（例：ABC1234567ZX）

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this roduct outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Windows Vista®およびWindowsは、米国または他国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/